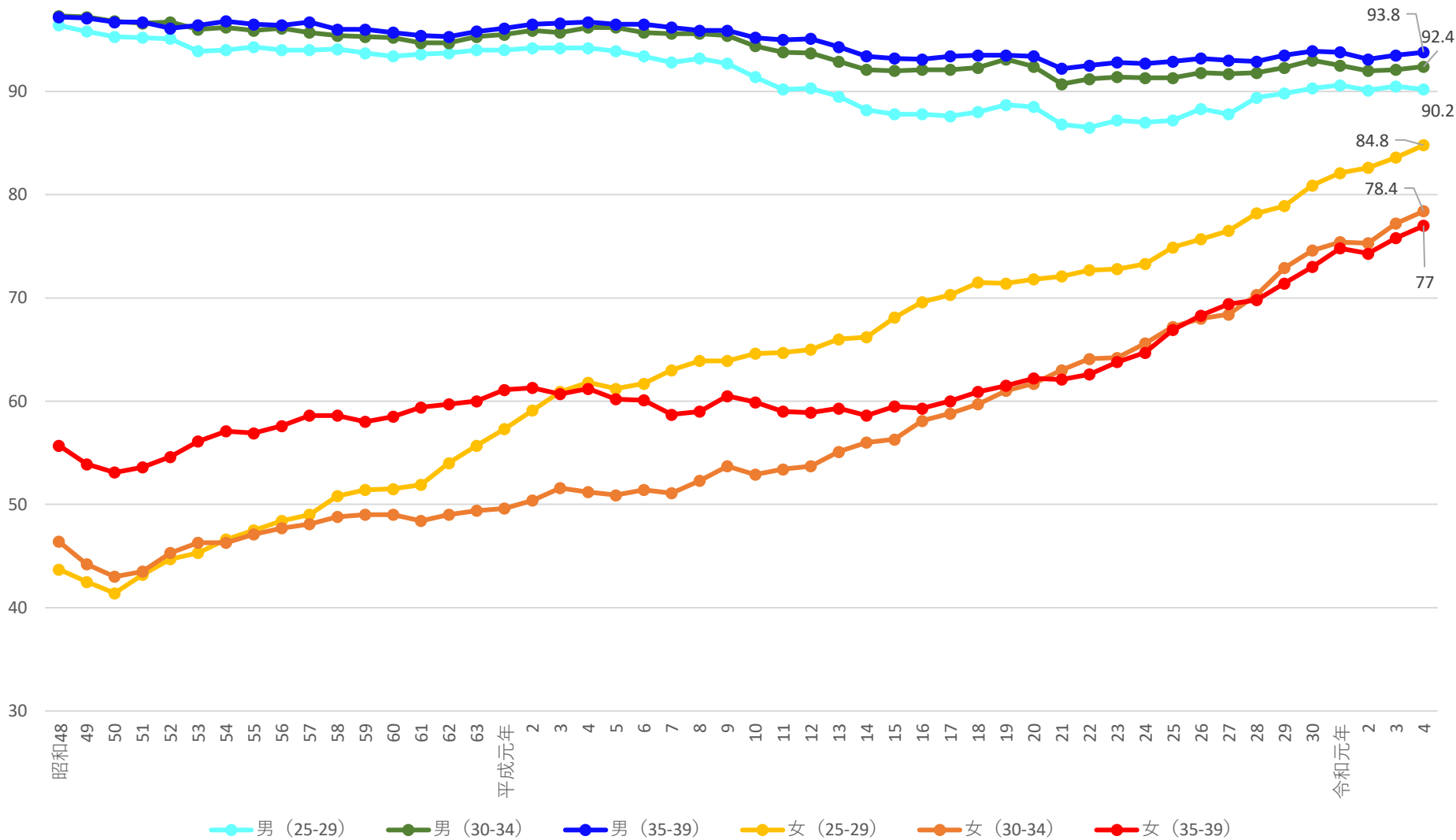


別学共学を取り巻く環境

男女別就業率の推移 (25~39歳の5歳階級)

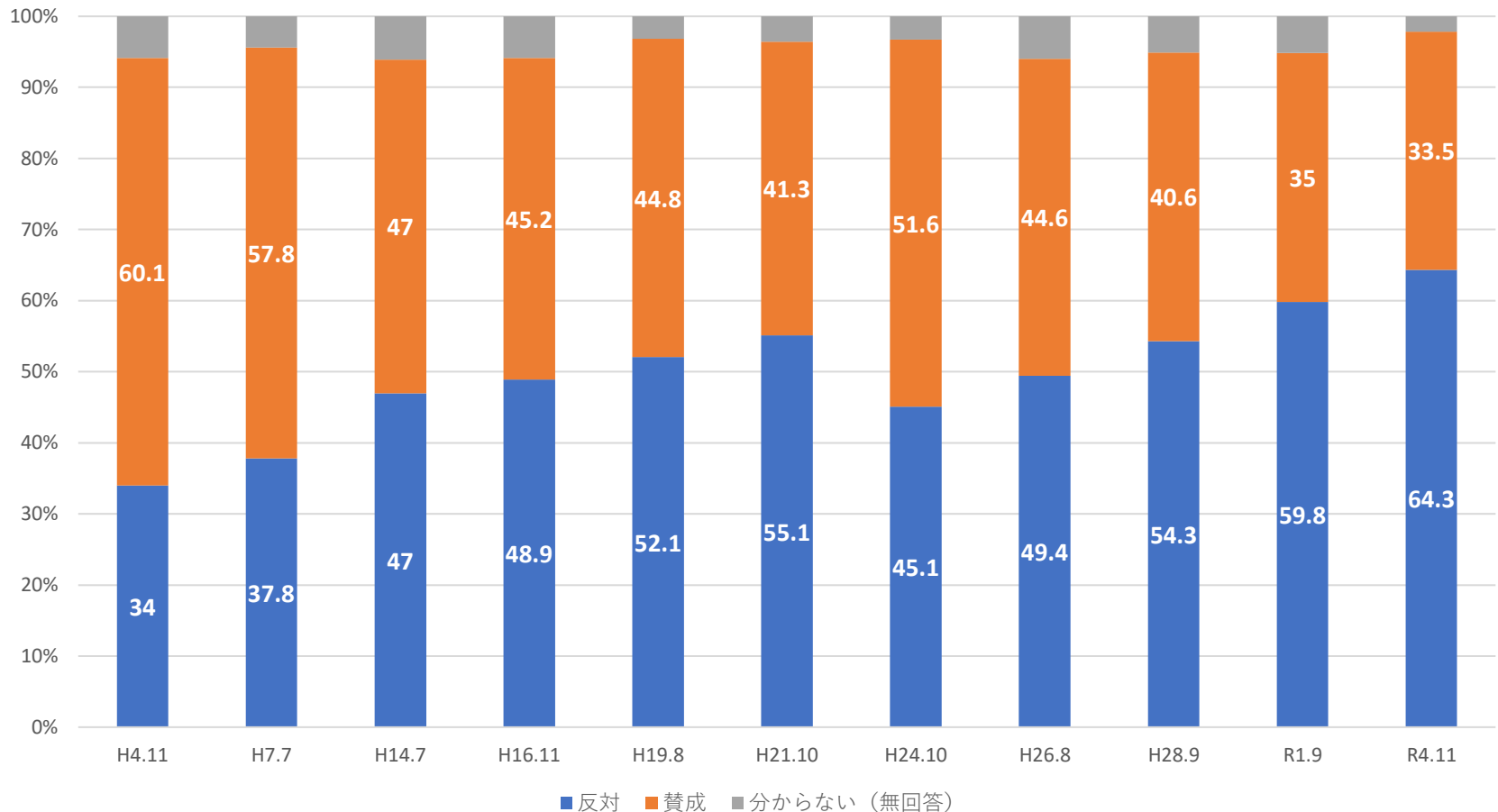
女性の就業率は上昇傾向が続く



世論の変化

「女性が家庭に」と考える割合は少なくなってきている

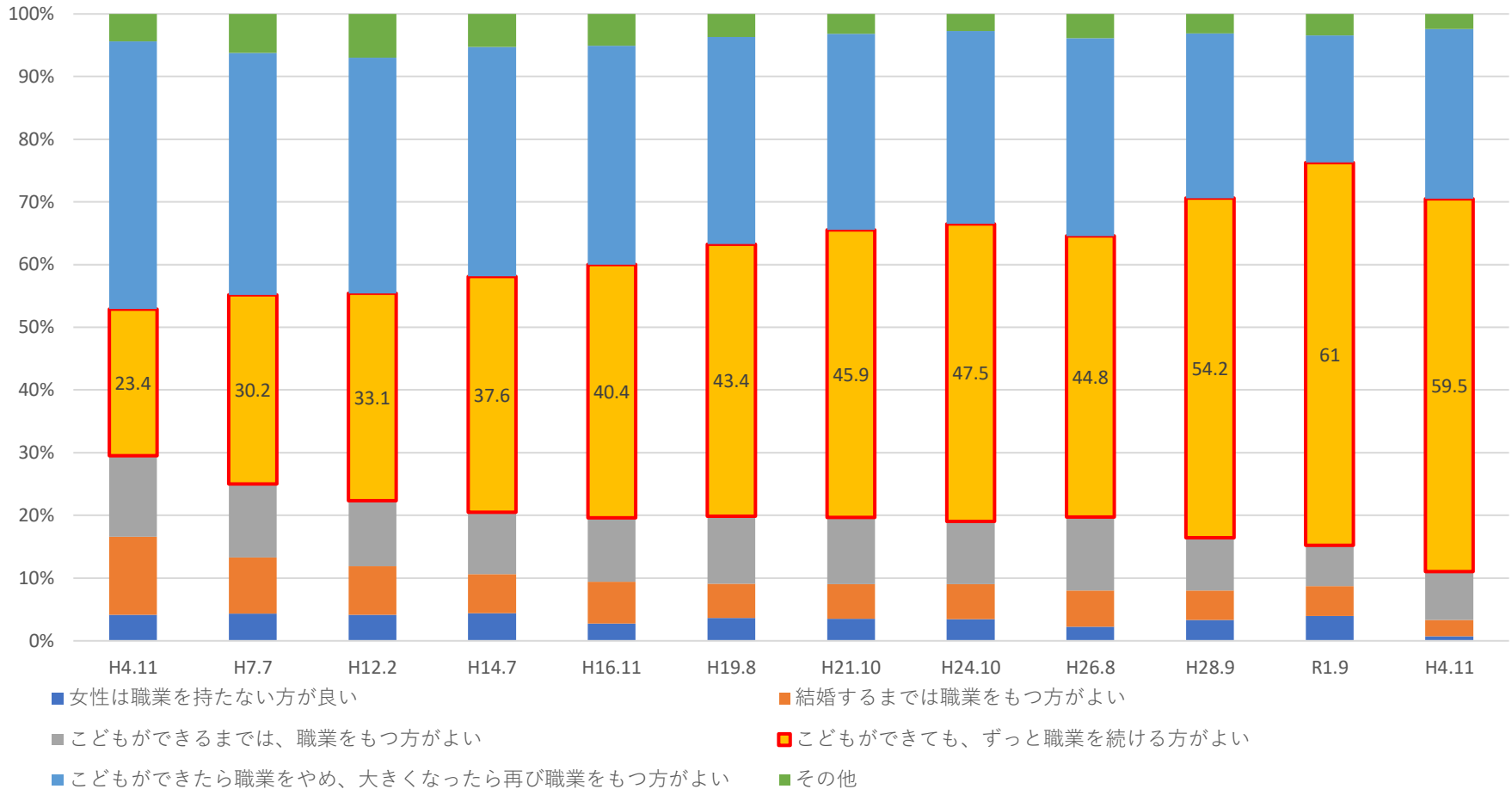
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する意識



世論の変化

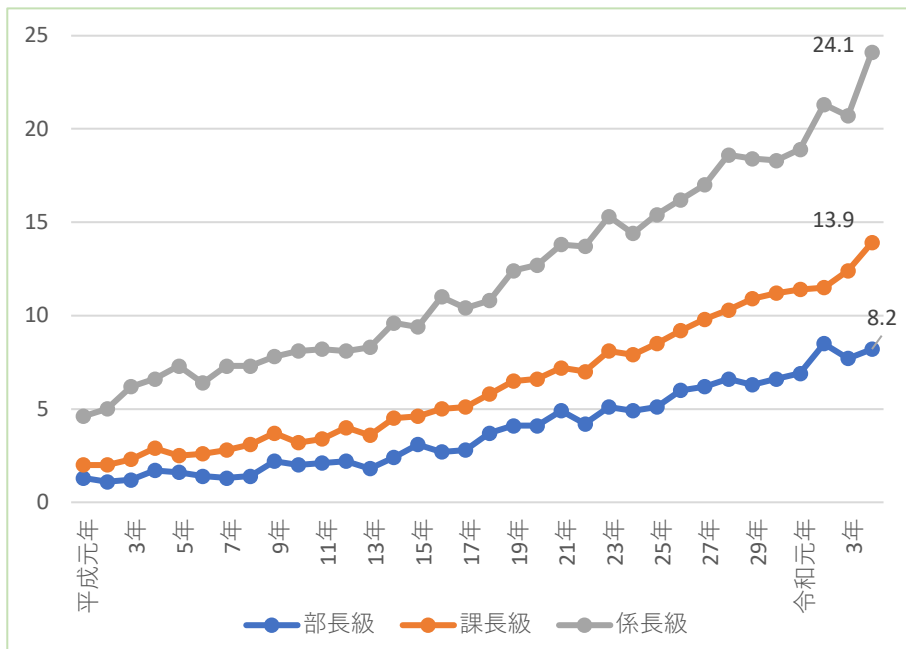
「こどもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と考える割合は広がっている

女性が職を持つことへの意識



民間企業における女性役員の推移

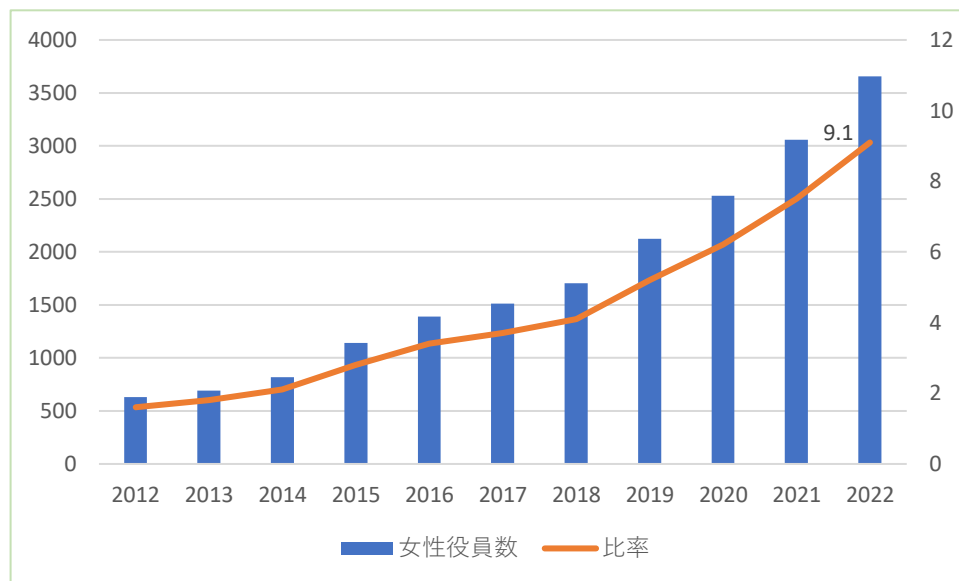
民間企業の雇用者の役職段階に占める女性割合推移



厚生労働省 賃金構造基本統計調査

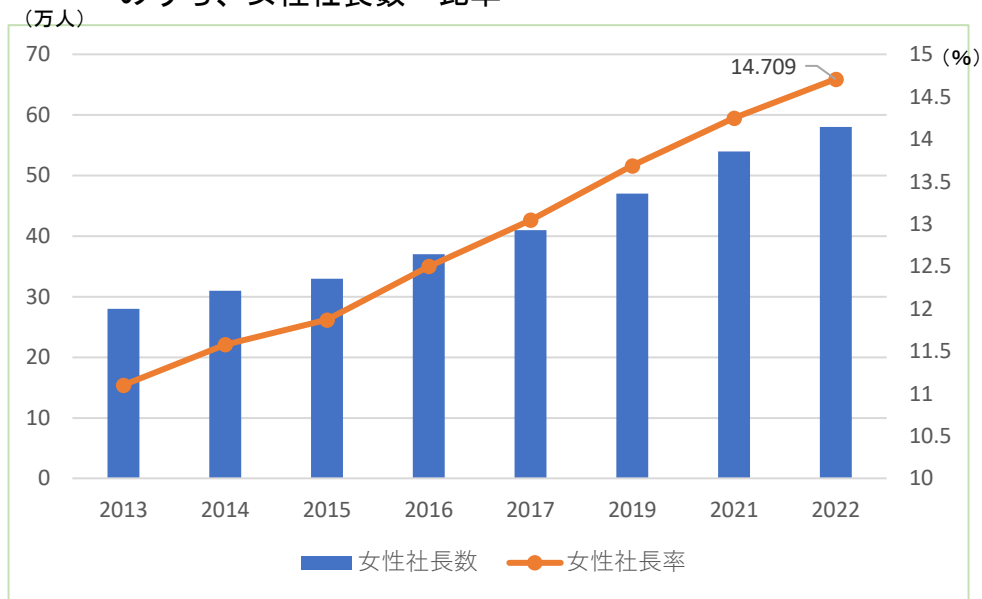
企業において役職に就く女性比率は高まってきているが、高い比率とは言えない

上場企業の役員に占める女性割合推移



女性社長の社長比率の推移

東京商工リサーチが保有する約400万社の経営者情報のうち、女性社長数・比率



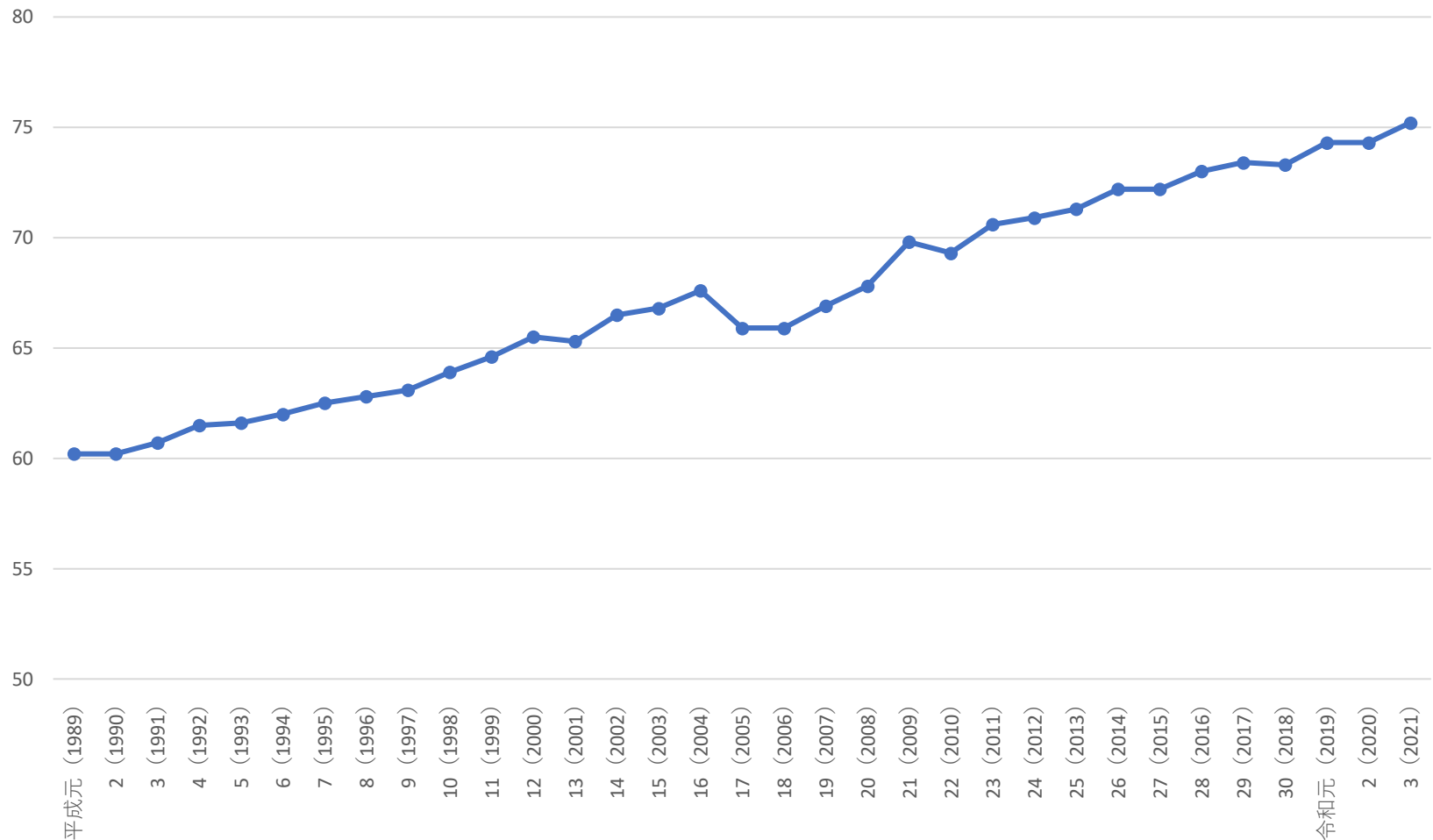
女性社長 出身大学ランキング

	学校名	人数		学校名	人数
1	日本大学	458	16	広島大学	130
2	慶應義塾大学	376	17	昭和大学	129
3	東京女子医科大学	317	18	法政大学	121
4	早稲田大学	312	18	大阪大学	121
5	青山学院大学	237	20	九州大学	115
6	日本女子大学	187	21	東海大学	114
7	同志社大学	180	21	学習院大学	114
8	東京大学	178	23	福岡大学	106
9	明治大学	165	24	東京医科歯科大学	102
10	上智大学	155	25	鶴見大学	99
11	中央大学	150	26	東京女子大学	97
12	立教大学	148	27	関西学院大学	95
13	日本歯科大学	143	28	成城大学	94
14	共立女子大学	135	28	千葉大学	94
15	東邦大学	133	30	近畿大学	93

男女の賃金格差の変化

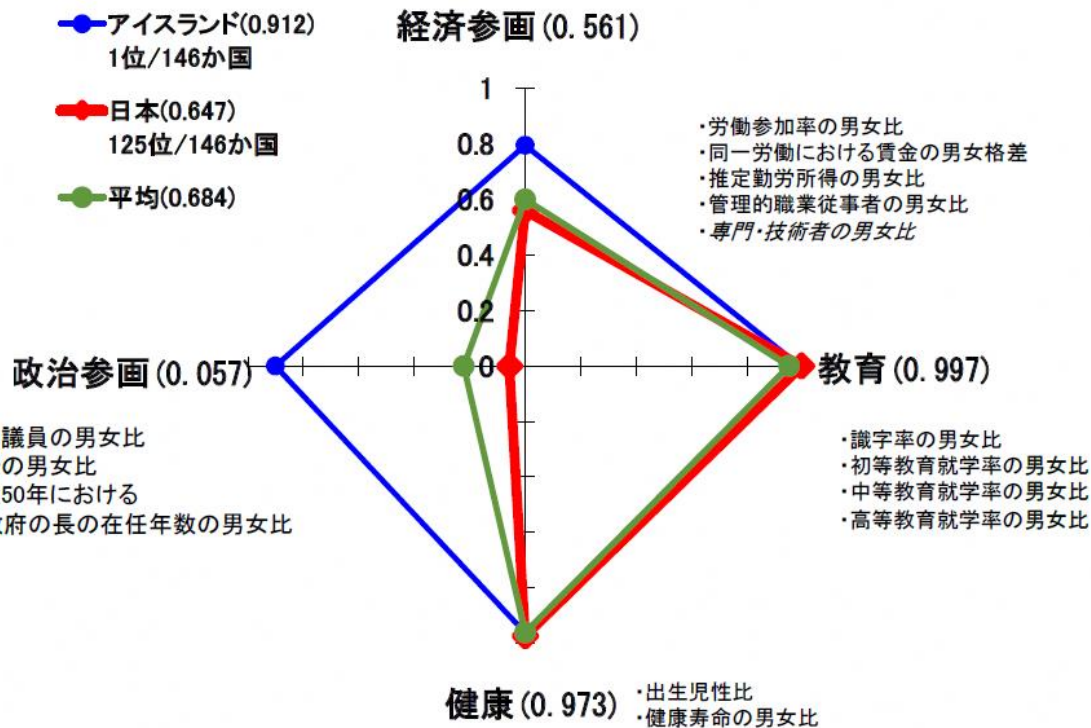
男女の賃金格差は縮まってきている。一方、まだ一定の差がみられる

男性一般労働者を100とした場合の女性一般労働者の給与水準



ジェンダー・ギャップ指数 2023

- ・スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が公表。男性に対する女性の割合（女性の数値/男性の数値）を示しており、**0が完全不平等、1が完全平等**。
- ・**日本は146か国中125位。「教育」と「健康」の値は世界トップクラスだが、「政治」と「経済」の値が低い。**

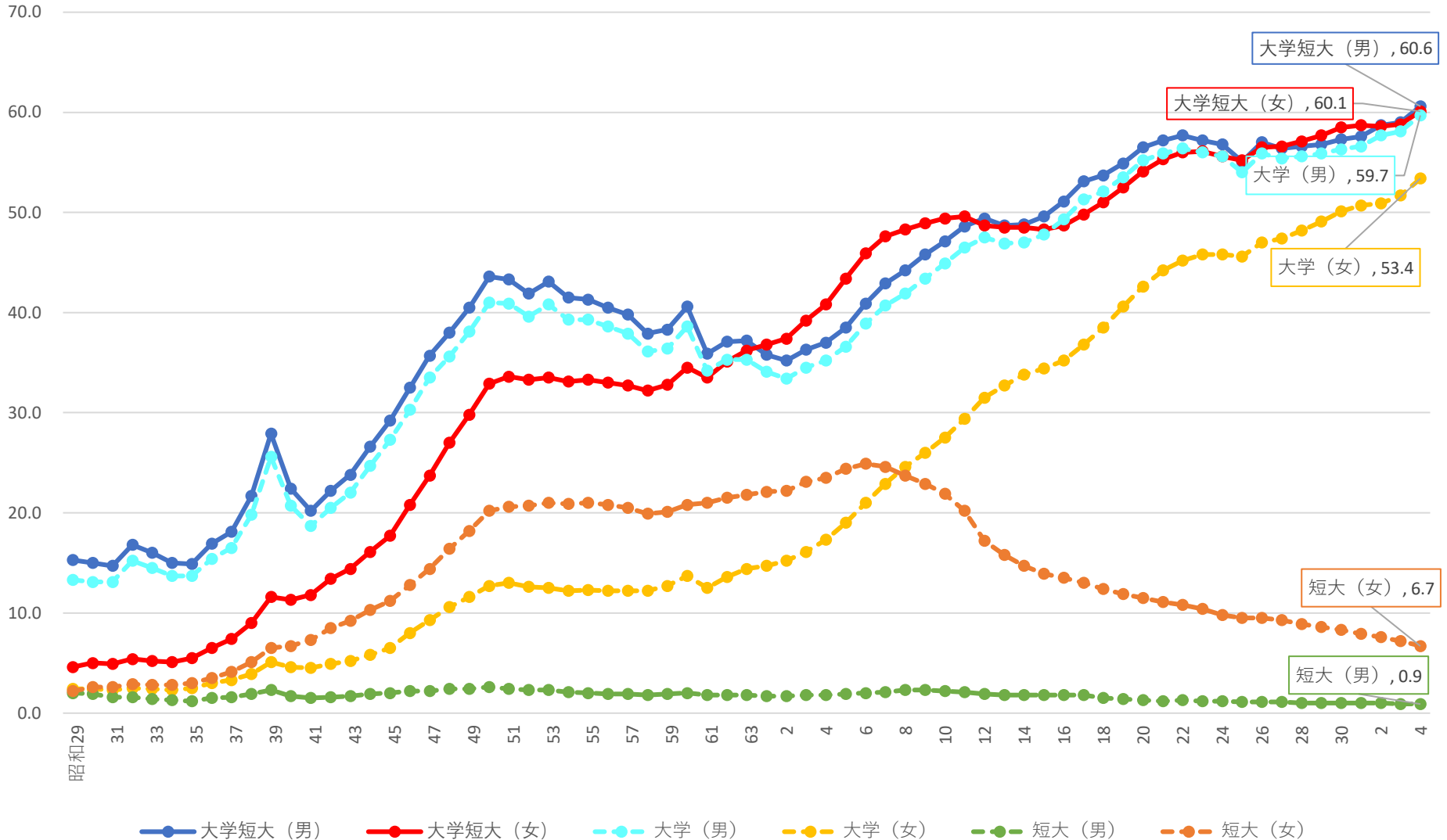


順位	国名	値
1	アイスランド	0.912
2	ノルウェー	0.879
3	フィンランド	0.863
4	ニュージーランド	0.856
5	スウェーデン	0.815
6	ドイツ	0.815
15	英国	0.792
30	カナダ	0.770
40	フランス	0.756
43	アメリカ	0.748
79	イタリア	0.705
102	マレーシア	0.682
105	韓国	0.680
107	中国	0.678
124	モルディブ	0.649
125	日本	0.647
126	ヨルダン	0.646
127	インド	0.643

(備考) 1. 世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書(2023)」より作成
 2. 日本の数値がカウントされていない項目はイタリックで記載
 3. 分野別の順位: 経済(123位)、教育(47位)、健康(59位)、政治(138位)

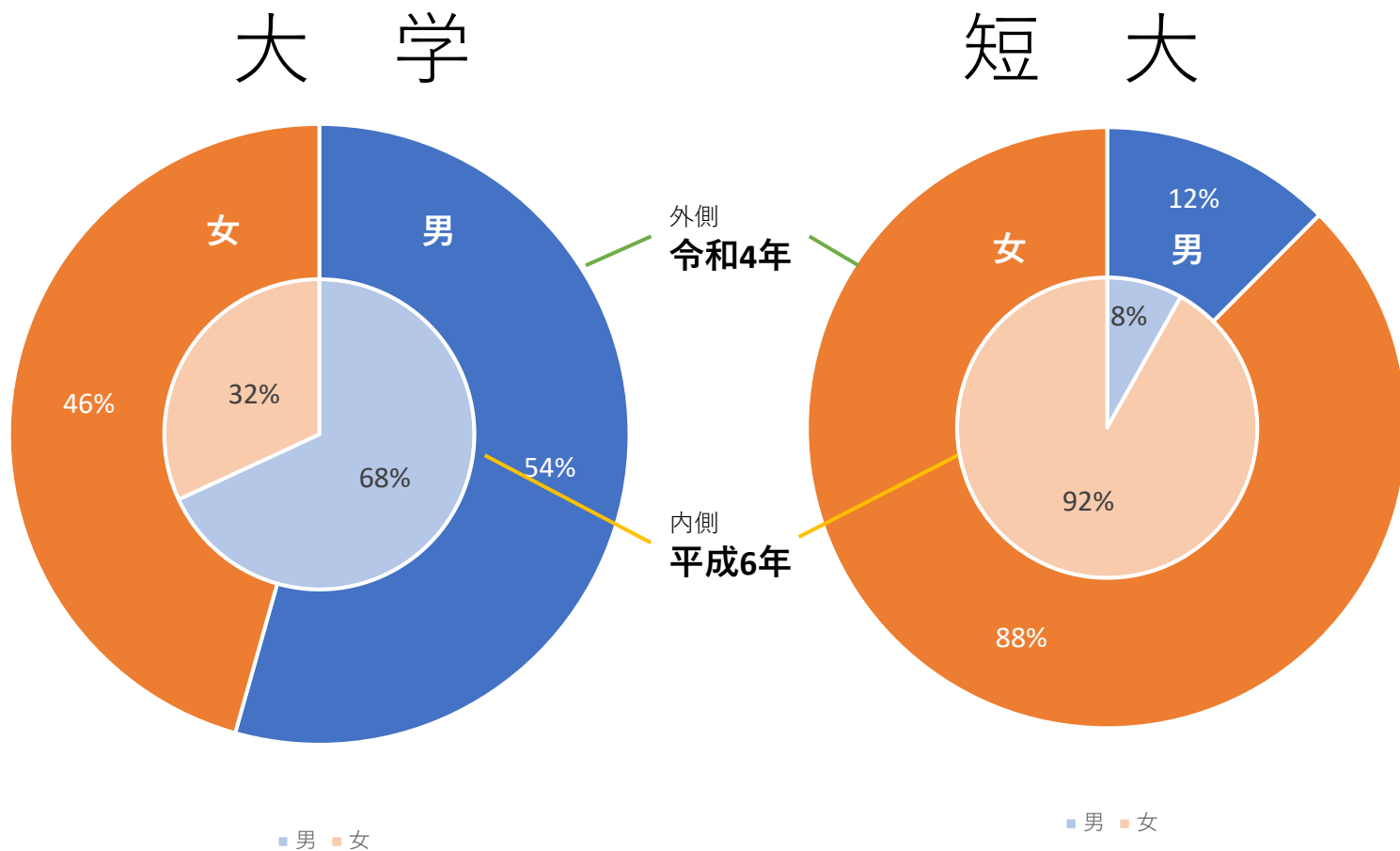
男女別大学・短大進学率の推移

男女の大学短大進学率はほぼ差がなくなった一方で、大学だけでは7ポイントの差



大学・短期大学の学生数の男女比の変化 (短大進学率がピークであったH6との比較)

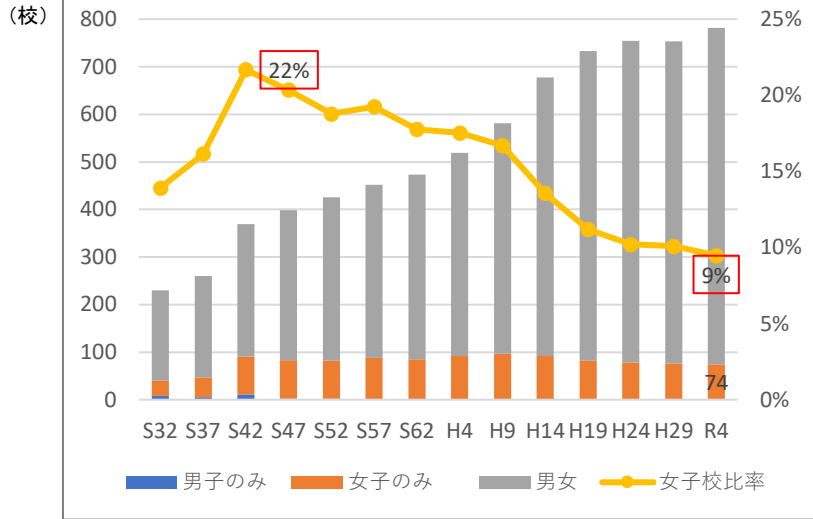
大学は女性比率が高くなり、短大は男性比率が増加



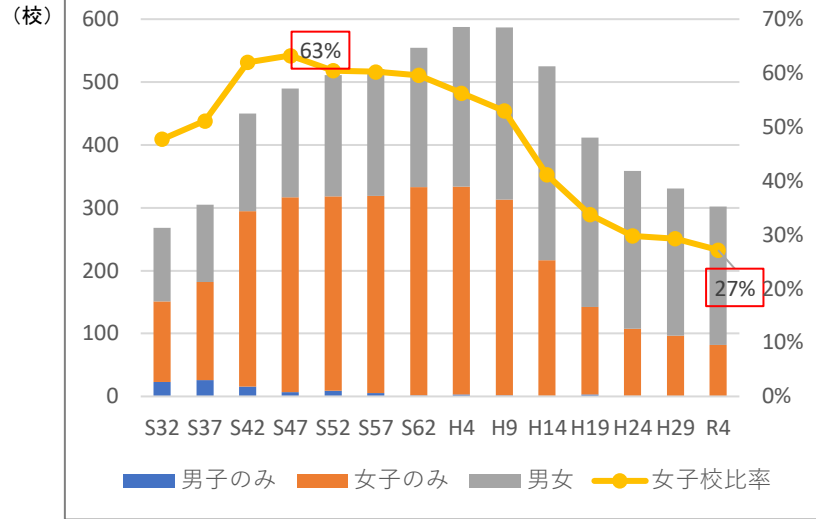
共学・別学学校数の推移（女子校の比率）

女子校は学校数、比率ともに減少傾向

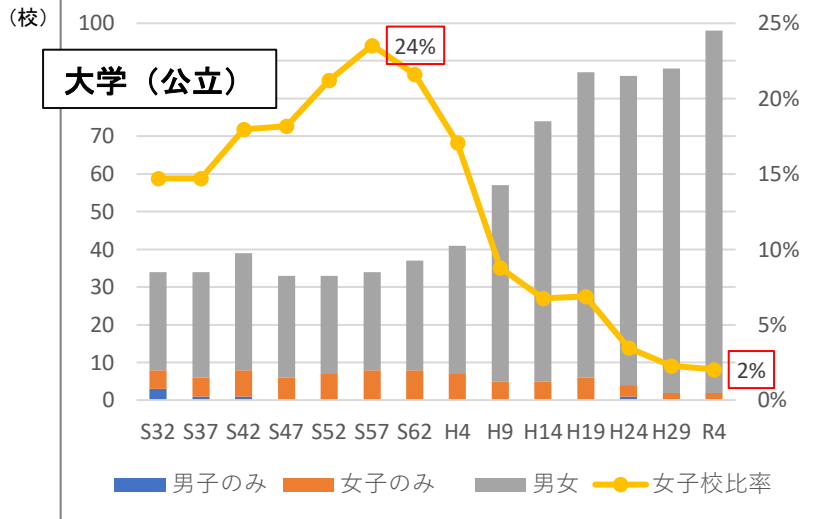
大学（総数）



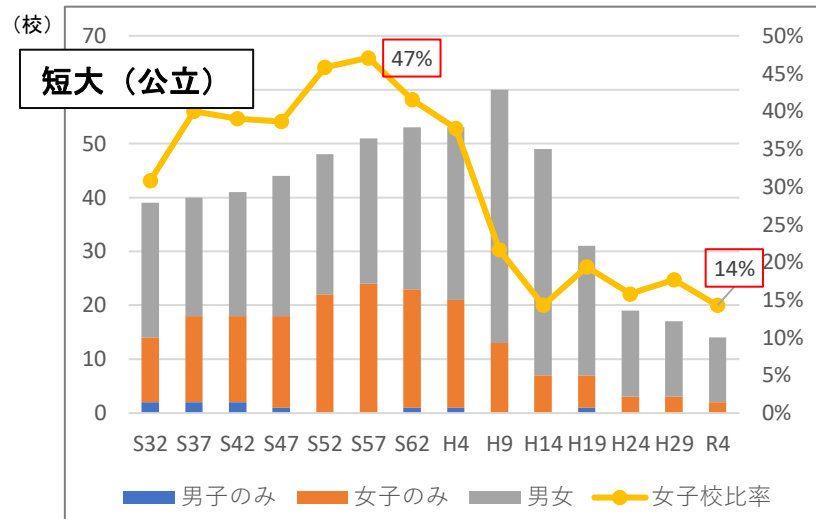
短大（総数）



大学（公立）



短大（公立）



全国の国公立女子大学・女子短期大学

国立大学

東京都

お茶の水女子大学

文教育学部

理学部

生活科学部

共創工学部(R6予定)

奈良県

奈良女子大学

文学部

理学部

生活環境学部

工学部

公立大学

群馬県

群馬県立女子大学

文学部

国際コミュニケーション学部

千葉県

福岡女子大学

国際文理学部

公立短期大学

山形県

山形県立米沢女子短期大学

国語国文学科

英語英文学科

日本史学科

社会情報学科

岐阜県

岐阜市立女子短期大学

国際コミュニケーション学科

健康栄養学科

デザイン環境学科

全国の私立女子大学（その1）

北海道	藤女子大学 文学部 人間生活学部	東京都	共立女子大学 家政学部 文芸学部 国際学部 看護学部 ビジネス学部 建築・デザイン学部 大妻女子大学 家政学部 文学部 社会情報学部 比較文化学部 人間関係学部 日本女子大学 家政学部 文学部 家政学部(通) 人間社会学部 理学部 跡見学園女子大学 文学部 マネジメント学部 観光コミュニティ学部 心理学部 清泉女子大学 文学部 聖心女子大学 現代教養学部 昭和女子大学 人間文化学部 食健康科学部 人間社会学部 グローバルビジネス学部 国際学部 環境デザイン学部 日本女子体育大学 体育学部 学習院女子大学 国際文化交流学部 東京女子医科大学 医学部 看護学部	東京都	女子美術大学 芸術学部 東京女子大学 現代教養学部 東京家政大学 家政学部 人文学部 健康科学部 子ども学部 栄養学部 白百合女子大学 文学部 人間総合学部 東京女子体育大学 体育学部 津田塾大学 学芸学部 総合政策学部 実践女子大学 生活科学部 文学部 人間社会学部 東京家政学院大学 現代生活学部 人間栄養学部 駒沢女子大学 人間健康学部 人間総合学群 看護学部 人文学部 恵泉学園大学 人文学部 人間社会学部	神奈川県	東洋英和女学院大学 国際社会学部 人間科学部 フェリス学院大学 文学部 音楽学部 国際交流学部 鎌倉女子大学 家政学部 児童学部 教育学部 相模女子大学 学芸学部 栄養科学部 人間社会学部 岐阜女子大学 家政学部 文化創造学部 岡崎女子大学 子ども教育学部 金城学院大学 文学部 生活環境学部 人間科学部 薬学部 国際情報学部 看護学部 檀山学園大学 生活科学部 人間関係学部 文化情報学部 国際コミュニケーション学部 現代マネジメント学部 教育学部 看護学部 名古屋柳城女子大学 こども学部
宮城県	仙台白百合女子大学 人間学部 宮城学院女子大学 学芸学部 教育学部 生活科学部 現代ビジネス学部	福島県	郡山女子大学 家政学部	埼玉県	女子栄養大学 栄養学部 十文字学園女子大学 人間生活学部 社会情報デザイン学部 教育人文学部 旧)人間生活学部	千葉県	川村学園女子大学 文学部 教育学部 生活創造学部 聖徳大学 音楽学部 人間栄養学部 心理・福祉学部 心理・福祉学部(通) 文学部 文学部(通) 看護学部 教育学部 教育学部(通) 児童学部 児童学部(通) 和洋女子大学 人文学部 家政学部 看護学部 国際学部 愛国学園大学 人間文化学部

日本私立学校振興・共済事業団
大学ポータルサイトによる 「男女校種別=女子校」による検索結果による
(清泉女学院大学(長野県)は看護学部が共学化しているため除く)

全国の私立女子大学（その2）

愛知県	名古屋女子大学 家政学部 文学部 健康科学部 医療科学部	大阪府	梅花女子大学大阪府 文化表現学部 心理こども学部 看護保健学部 食文化学部	岡山県	ノートルダム清心女子大学 文学部 人間生活学部
	桜花学園大学 保育学部 学芸学部		大阪樟蔭女子大学大阪府 学芸学部 児童教育学部 健康栄養学部 心理学部	広島県	安田女子大学 文学部 現代ビジネス学部 家政学部 薬学部 教育学部 心理学部 看護学部
京都府	平安女学院大学 国際観光学部 子ども教育学部	兵庫県	神戸女子大学 家政学部 文学部 健康福祉学部 看護学部 心理学部		広島女学院大学 人間生活学部 人文学部 国際教養学部
	京都華頂大学 現代家政学部		神戸松蔭女子学院大学 文学部 人間科学部 教育学部	愛媛県	松山東雲女子大学 人文科学部 西南女学院大学 保健福祉学部 人文学部
	京都女子大学 文学部 家政学部 現代社会学部 発達教育学部 法学部 データサイエンス学部		神戸海星女子学院大学 現代人間学部	福岡県	九州女子大学 家政学部 人間科学部 福岡女学院大学 人文学部 人間関係学部 国際キャリア学部
	京都ノートルダム女子大学 国際言語文化学部 現代人間学部		甲南女子大学 文学部 人間科学部 看護リハビリテーション学部 医療栄養学部 国際学部		福岡女学院看護大学 看護学部
	同志社女子大学 学芸学部 生活科学部 現代社会学部 薬学部 表象文化学部 看護学部		園田学園女子大学 人間健康学部 人間教育学部 経営学部		筑紫学園大学 文学部 人間科学部 現代社会学部
	京都光華女子大学 キャリア形成学部 健康科学部 こども教育学部		神戸女学院大学 文学部 音楽学部 人間科学部	長崎県	活水女子大学 国際文化学部 音楽学部 健康生活学部 看護学部
大阪府	大阪女学院大学 国際・英語学部		武庫川女子大学 文学部 音楽学部 薬学部 生活環境学部 健康・スポーツ科学部 看護学部 教育学部 建築学部 食物栄養科学部 経営学部 社会情報学部 心理・社会福祉学部	熊本県	尚綱大学 生活科学部 現代文化学部
	千里金蘭大学 看護学部 教育学部 栄養学部 生活科学部				

69校

日本私立学校振興・共済事業団
大学ポートレートサイトによる

「男女校種別=女子校」による検索結果による

全国の私立女子短期大学（その1）

北海道	北海道武蔵女子短期大学 教養学科 英文学科 経済学科	埼玉県	秋草学園短期大学 幼児教育学科第二部 幼児教育学科第一部 地域保育学科 文化表現学科	東京都	女子栄養大学短期大学部 食物栄養学科 東京家政大学短期大学部 栄養科 保育科 東京女子体育短期大学 保健体育学科 こどもスポーツ教育学科 創価女子短期大学 国際ビジネス学科 英語コミュニケーション学科 駒沢女子短期大学 保育科	福井県	仁愛女子短期大学 生活科学学科 幼児教育学科
	光塩学園女子短期大学 食物栄養科 保育科	千葉県	聖徳大学短期大学部 保育科 保育科(二) 保育科(通) 総合文化学科		創価女子短期大学 国際ビジネス学科 英語コミュニケーション学科 駒沢女子短期大学 保育科	長野県	清泉女学院短期大学 幼児教育科 国際コミュニケーション科 上田女子短期大学 幼児教育学科 総合文化学科
	札幌大学女子短期大学部 キャリアデザイン学科(R4～募集停止) こども学科(R4～募集停止)	東京都	東京歯科大学短期大学 歯科衛生学科		横浜女子短期大学 保育学科	岐阜県	大垣女子短期大学 幼児教育学科 デザイン美術学科 音楽総合学科 歯科衛生学科
秋田県	聖霊女子短期大学 生活文化科		共立女子短期大学 生活科学科 文科	神奈川県	鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科 相模女子大学短期大学部 食物栄養学科 上智大学短期大学部 英語科	愛知県	愛知大学短期大学部 ライフデザイン総合学科 岡崎女子短期大学 幼児教育学科 幼児教育学科(三) 現代ビジネス学科 愛知みずほ短期大学 生活学科
福島県	桜の聖母短期大学 生活科学科 キャリア教養学科		大妻女子大学短期大学部 家政科 国文科 英文科	石川県	金沢星稜大学女子短期大学部 経営実務科		
	郡山女子大学短期大学部 健康栄養学科 幼児教育学科 地域創成学科		戸板女子短期大学 食物栄養科 服飾芸術科				
茨城県	茨城女子短期大学 表現文化学科 保育科		愛国学園短期大学 家政科				
栃木県	作新学院大学女子短期大学部 幼児教育科		実践女子大学短期大学部 日本語コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科				
埼玉県	埼玉女子短期大学 国際コミュニケーション学科 商学科		目白大学短期大学部 製菓学科 ビジネス社会学科 歯科衛生学科				
	武蔵野短期大学 幼児教育学科		女子美術大学短期大学部 造形学科				

全国の私立女子短期大学（その2）

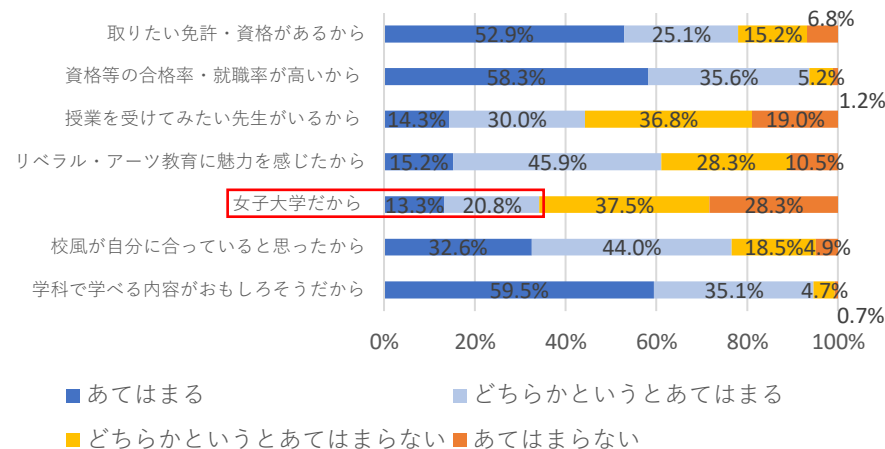
京都府	華頂短期大学 幼児教育学科 総合文化学科 京都光華女子大学短期大学部 ライフデザイン学科	兵庫県	園田学園女子大学短期大学部 生活文化学科 幼児教育学科 聖和短期大学 保育科	福岡県	香蘭女子短期大学 ファッション総合学科 食物栄養学科 保育学科 ライフプランニング総合学科
大阪府	大阪信愛学院短期大学 子ども教育学科 看護学科 大阪女学院短期大学 英語科 大阪キリスト教短期大学 幼児教育学科 大阪城南女子短期大学 現代生活学科 総合保育学科 常磐会短期大学 幼児教育科 大阪学院大学短期大学部 経営実務科 関西女子短期大学 保育学科 養護保健学科 歯科衛生学科 医療秘書学科	和歌山県	甲子園短期大学 生活環境学科 幼児教育保育学科 武庫川女子大学短期大学部 英語キャリア・コミュニケーション学科 生活造形学科 日本語文化学科 食生活学科 幼児教育学科 心理・人間関係学科 健康・スポーツ学科 和歌山信愛女子短期大学 生活文化学科 保育科	佐賀県	福岡女学院大学短期大学部 英語科 精華女子短期大学 生活科学科 幼児保育学科 福岡女子短期大学 健康栄養学科 音楽科 文化教養学科 子ども学科 佐賀女子短期大学 こども未来学科 地域みらい学科
兵庫県	神戸女子短期大学 幼児教育学科 総合生活学科 食物栄養学科	広島県	安田女子短期大学 保育科 山陽女子短期大学 人間生活学科 食物栄養学科 臨床検査学科 松山東雲短期大学 保育科 現代ビジネス学科 食物栄養学科	長崎県	長崎女子短期大学 生活創造学科 幼児教育学科
		福岡県	西南女学院大学短期大学部 保育科 九州女子短期大学 子ども健康学科	熊本県	尚綱大学短期大学部 幼児教育学科 食物栄養学科 総合生活学科
				鹿児島県	鹿児島純心女子短期大学 生活学科 英語科 鹿児島女子短期大学 児童教育学科 生活科学科 教養学科

70校

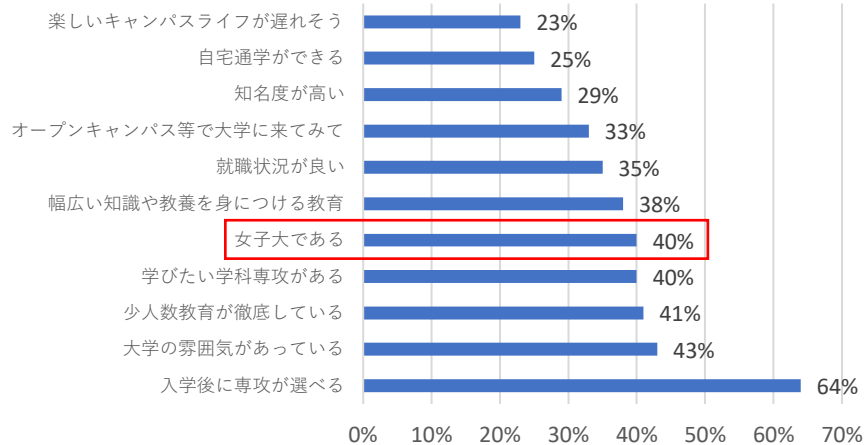
受験・入学における動機に関するアンケート事例

「女子校」であることが受験・入学動機になるかは差がみられる

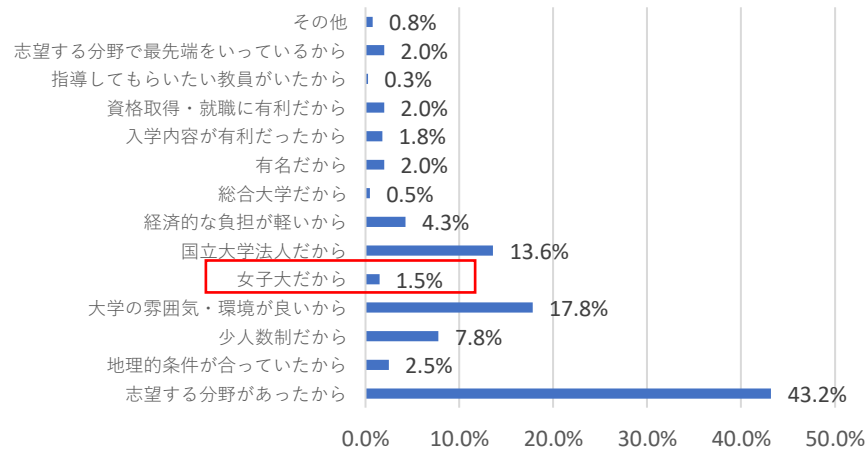
ノートルダム清心女子大学 (私立 岡山)
R4調査 各項目4択



聖心女子大学 (私立 東京)
R3調査 複数回答



お茶の水大学 (国立 東京)
H24調査 いずれか選択



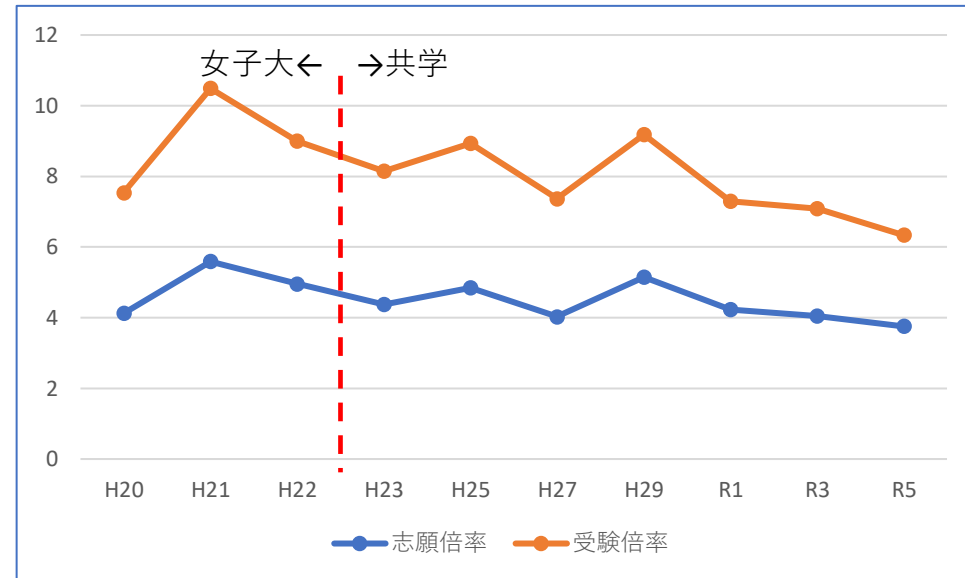
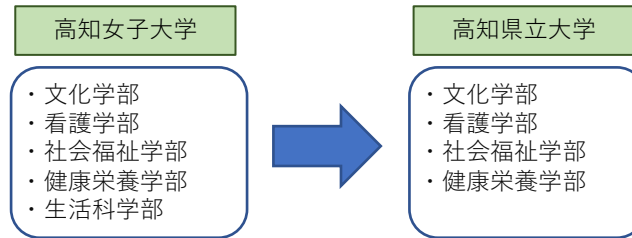
共学化した大学の受験入学状況の推移

現在の学校名：高知県立大学

経緯：平成23年、高知女子大学が高知県立大学と改称し共学化

		入学定員【A】	志願者数【B】	志願倍率【B/A】	受験者数【C】	受験倍率【C/A】	合格者数	入学者数【D】	入学定員充足率【D/A】
高知女子大学	H20年度	215人	888人	4.13倍	733人	3.41倍	300人	239人	111.2%
	H21年度	215人	1,201人	5.59倍	1,053人	4.90倍	307人	230人	107.0%
	H22年度	270人	1,338人	4.96倍	1,092人	4.04倍	360人	280人	103.7%
高知県立大学	H23年度	270人	1,182人	4.38倍	1,017人	3.77倍	334人	295人	109.3%
	H25年度	270人	1,309人	4.85倍	1,102人	4.08倍	333人	285人	105.6%
	H27年度	310人	1,249人	4.03倍	1,036人	3.34倍	369人	328人	105.8%
	H29年度	310人	1,598人	5.15倍	1,250人	4.03倍	376人	323人	104.2%
	R1年度	310人	1,310人	4.23倍	951人	3.07倍	352人	326人	105.2%
	R3年度	310人	1,254人	4.05倍	942人	3.04倍	353人	331人	106.8%
R5年度	310人	1,167人	3.76倍	800人	2.58倍	358人	326人	105.2%	

2011年度（平成23年度）～

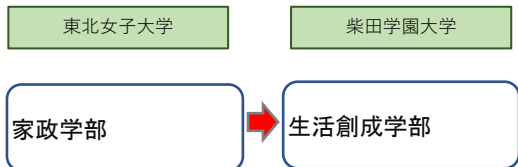


出所：高知県立大学ホームページ

共学化した大学の受験者数の変化

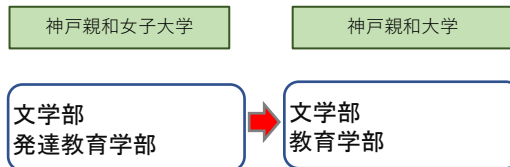
※比較数字は一般選抜（一般入試と共通テスト利用入試）分

柴田学園大学（青森）



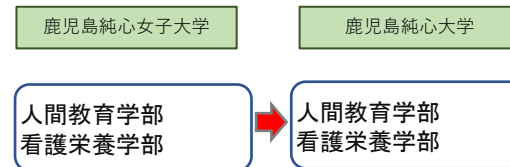
2021年度（令和3年度）～

神戸親和大学（兵庫）



2023年度（令和5年度）～

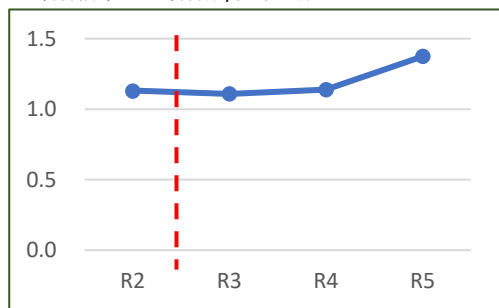
鹿児島純心大学（鹿児島）



2023年度（令和5年度）～

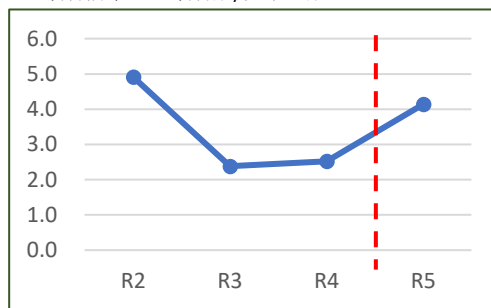
		募集人数	志願者数	受験者数	合格者数
東北女子	令和2年度	61	69	69	69
	令和3年度	55	61	60	59
柴田学園	令和4年度	50	57	53	53
	令和5年度	48	66	65	62

志願者倍率 = 志願者数 / 募集人数



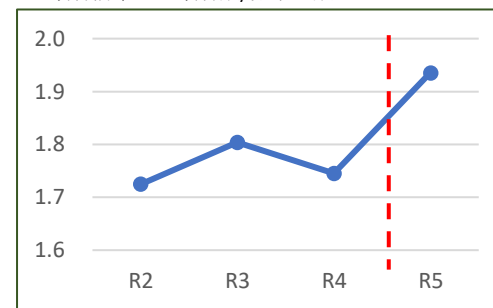
		募集人数	志願者数	受験者数	合格者数
神戸親和女子	令和2年度	192	944	922	636
	令和3年度	229	545	530	413
	令和4年度	204	513	492	375
神戸親和	令和5年度	204	843	815	520

志願者倍率 = 志願者数 / 募集人数



		募集人数	志願者数	受験者数	合格者数
鹿児島純心女子	令和2年度	120	207	200	159
	令和3年度	102	184	179	157
	令和4年度	102	178	177	156
鹿児島純心	令和5年度	93	180	179	150

志願者倍率 = 志願者数 / 募集人数

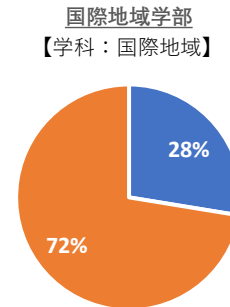
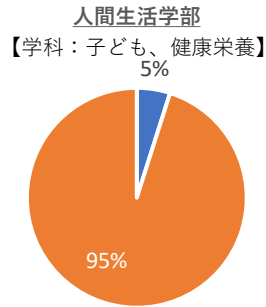
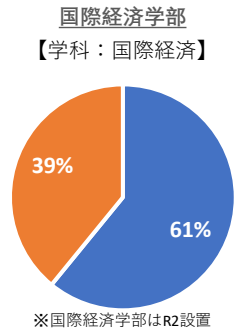


募集人数、志願者数、受験者数、合格者数は代々木ゼミナールホームページより引用
※一般選抜（一般入試と共通テスト利用入試）の合計値

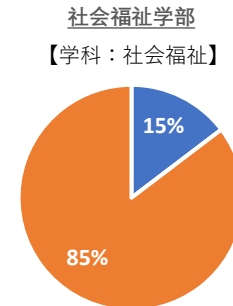
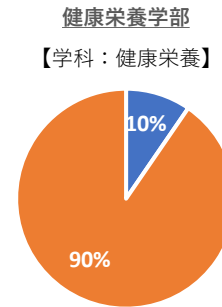
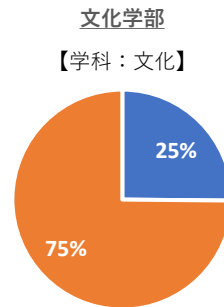
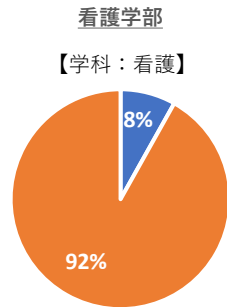
共学化した大学の学部別男女比（R4）



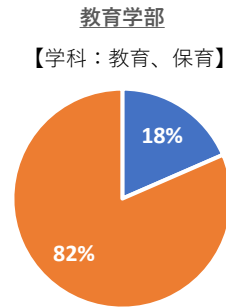
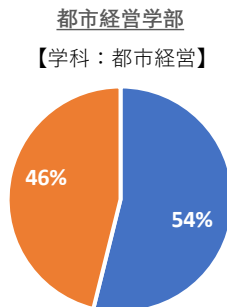
新潟県立大学（2009共学化（4年制化含む）（県立新潟女子短期大学））



高知県立大学（2011共学化（高知女子大学））



福山市立大学（2011共学化（4年制化含む）（福山市立女子短期大学））

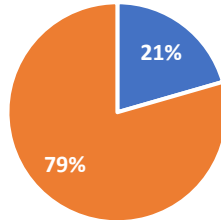


共学化した大学の学部別男女比（R4）

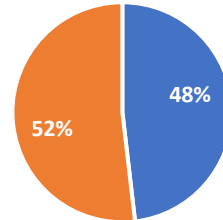


山陽学園大学（2009共学化（山陽学園大学））

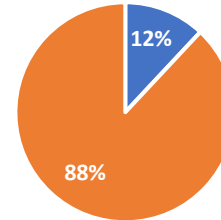
総合人間学部
【学科：言語文化、ビジネス心理】



地域マネジメント学部
【学科：地域マネジメント】

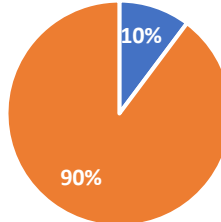


看護学部
【学科：看護】

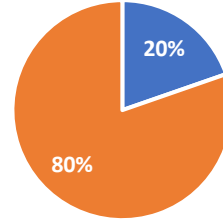


文化学園大学（2012共学化（文化女子大学））

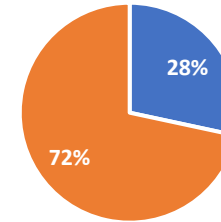
国際文化学部
【学科：国際文化観光、国際ファッション文化】



服飾学部
【学科：ファッションクリエイション、ファッション社会】

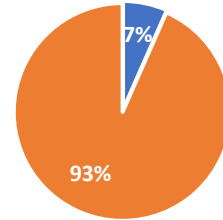


造形学部
【学科：デザイン造形、建築インテリア】



柴田学園大学（2021共学化（東北女子大学））

生活創成学部
【学科：健康栄養、子ども発達、フードマネジメント】



女子大学に設置された工学、経済系の事例

各数値は大学HPより

お茶の水女子大学（共創工学部）2024年予定

既存学部: 文教育学部、理学部、生活科学部

奈良女子大学（工学部）2022年

既存学部: 文学部、理学部、生活環境学部

募集定員	志願者	受験者	合格者	入学者
45	204	141	52	48

京都女子大学（データサイエンス学部）2023年

既存学部: 文学部、家政学部、現代社会学部、発達教育学部、法学部

募集定員	志願者	受験者	合格者	入学者 (R5.5時点在学者数)
95	428	411	254	99

園田学園女子大学（経営学部）2021年

既存学部: 人間健康学部、人間教育学部

募集定員	志願者	受験者	合格者	入学者
120	72	67	65	38

共立女子大学（ビジネス学部）2020年

既存学部: 家政学部、文芸学部、国際学部、看護学部、建築・デザイン学部

募集定員	志願者	受験者	合格者	入学者
150	704	654	375	160

武庫川女子大学（経営学部）2019年

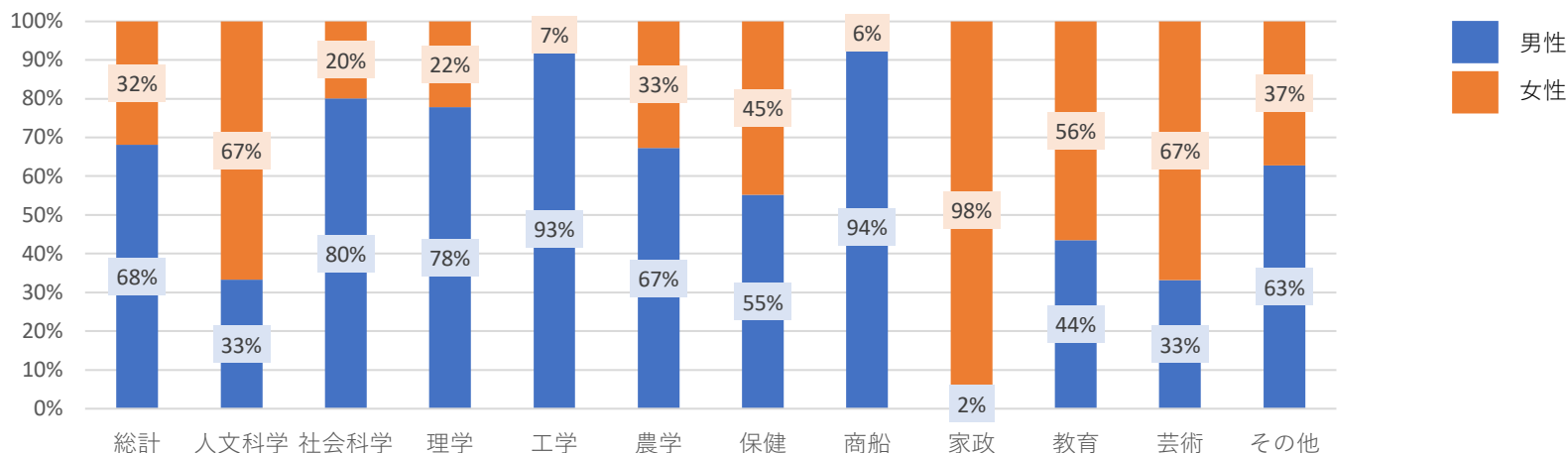
既存学部: 文学部、音楽学部、薬学部、生活環境学部、健康・スポーツ科学部、看護学部、教育学部、建築学部、食物栄養科学部、社会情報学部、心理・社会福祉学部

募集定員	志願者	受験者	合格者	入学者
200	-	1347	467	223

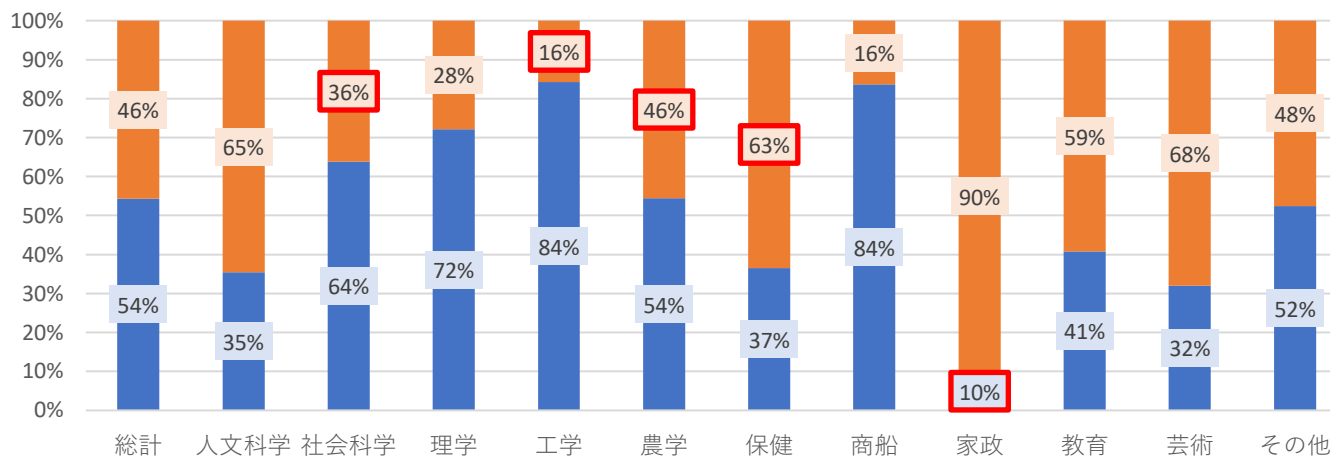
大学における学部分類ごとの男女比 (全国大学における在学学生数割合)

社会科学、工学、農学、保健において女性の比率が高まり、家政で男性の比率が高まっている

平成6年

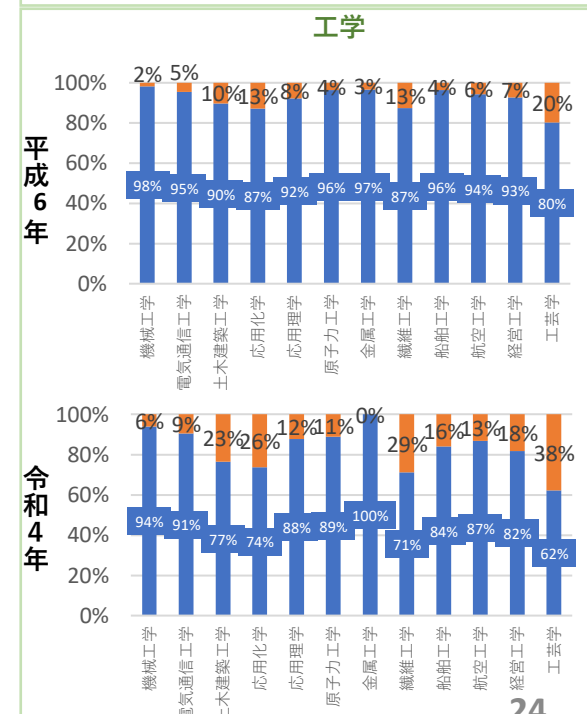
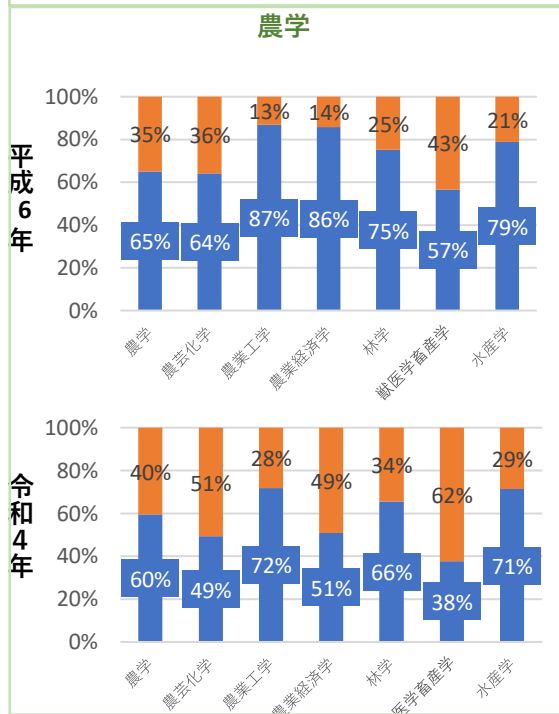
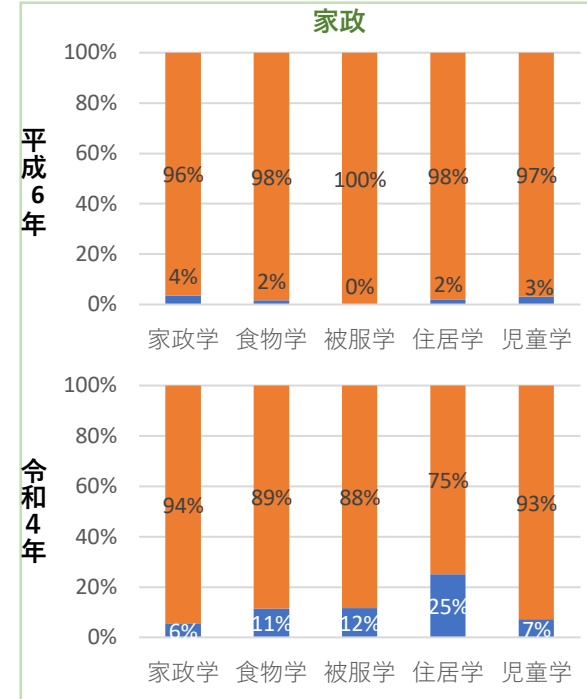
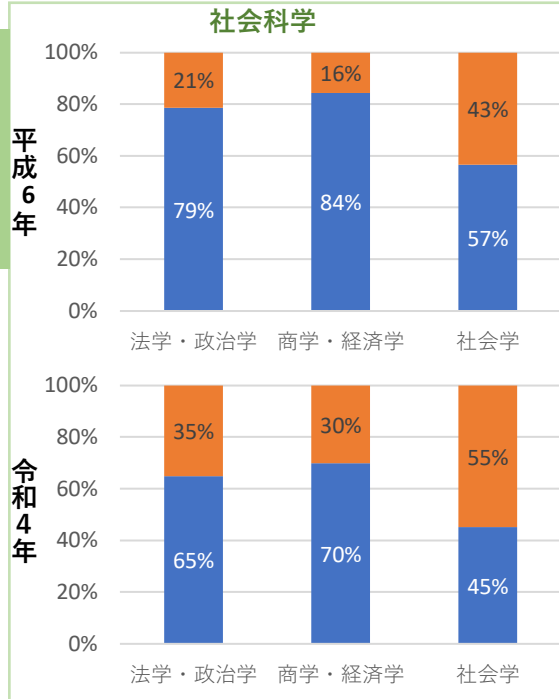
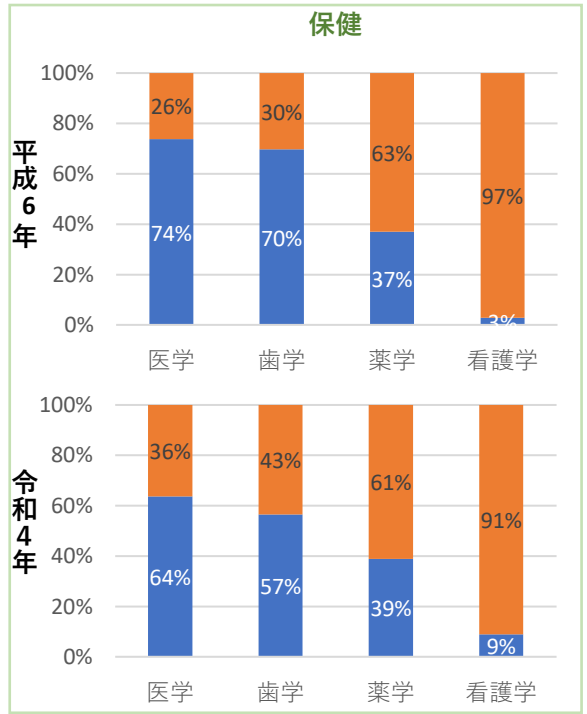


令和4年



男女比の変化の 大きい分野の 学科分類 男女比の変化

■ 男性
■ 女性



岐女短の沿革と社会背景の変化

岐阜女子専門学校（現 岐阜市立女子短期大学） 設立理由書 （昭和21年3月文部省提出添付書類） 《抜粋》
 「今や戦後日本建設の力として期待するものは、実に女子なり。
 女子の力を期待する以上、女子教育の向上発展を企図せざるべからず。」

岐阜市立女子短期大学の沿革

- 1946年（S21）
東海地区最初の公立女子専門学校として
岐阜女子専門学校設置
- 1949年（S24）
岐阜専門学校に改称（男女共学）
- 1950年（S25）
岐阜短期大学に移行
- 1954年（S29）
岐阜女子短期大学に改称（女子）
- 1988年（S63）
「岐阜市立女子短期大学」に改称

女子短期大学となった1954年（昭和29年）と直近2022年（令和4年）の比較

	1954年（S29）	2022年（R4）
女子の大学短大進学率	4.6%	60.1%
男女の大学短大進学率の差 （女子進学率：男子進学率）	1：3.3 （4.6%：15.3%）	1：1.01 （60.1%：60.4%）
別学共学比率（大学） （別学：共学）	1：4.3 （43校：184校）	1：9.6 （74校：708校）
別学共学比率（短大） （別学：共学）	1：0.85 （136校：115校）	1：2.7 （82校：220校）

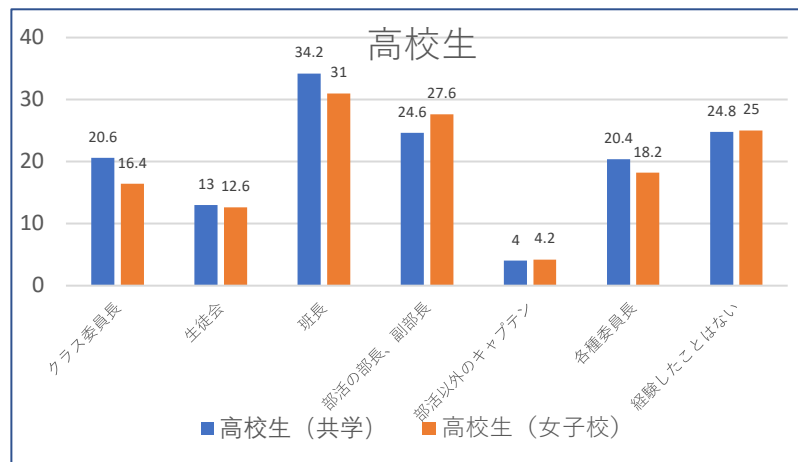
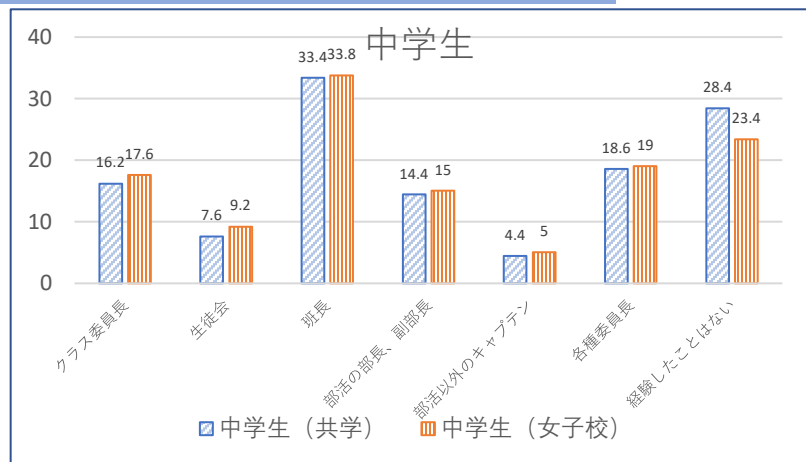
学校におけるリーダーシップに関する女子アンケート事例

調査主体：公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン

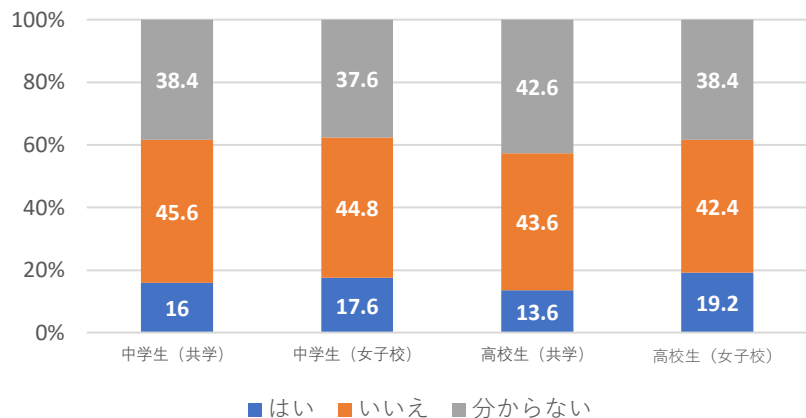
調査時期：令和3年8月

調査対象：女子中高校生2000人（共学中学校500人、別学中学校500人、共学高校500人、別学高校500人）

学校におけるリーダーの経験の有無



リーダーになりたいか



(公財) プラン・インターナショナルジャパン 日本における女性のリーダーシップ2022より

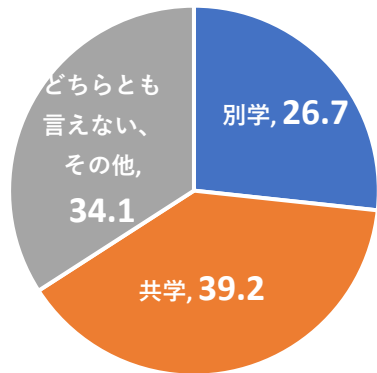
別学共学に関する調査事例

朝日新聞デジタル調査（2021）より

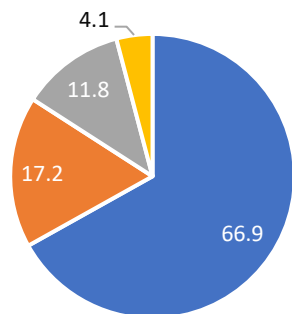
※特に高等教育だけに対する調査ではない

別学、共学への考え方は、分かれている。
共学に対して「男女ともにいることが社会で当然」という理由が多い。

別学と共学どちらが良いか

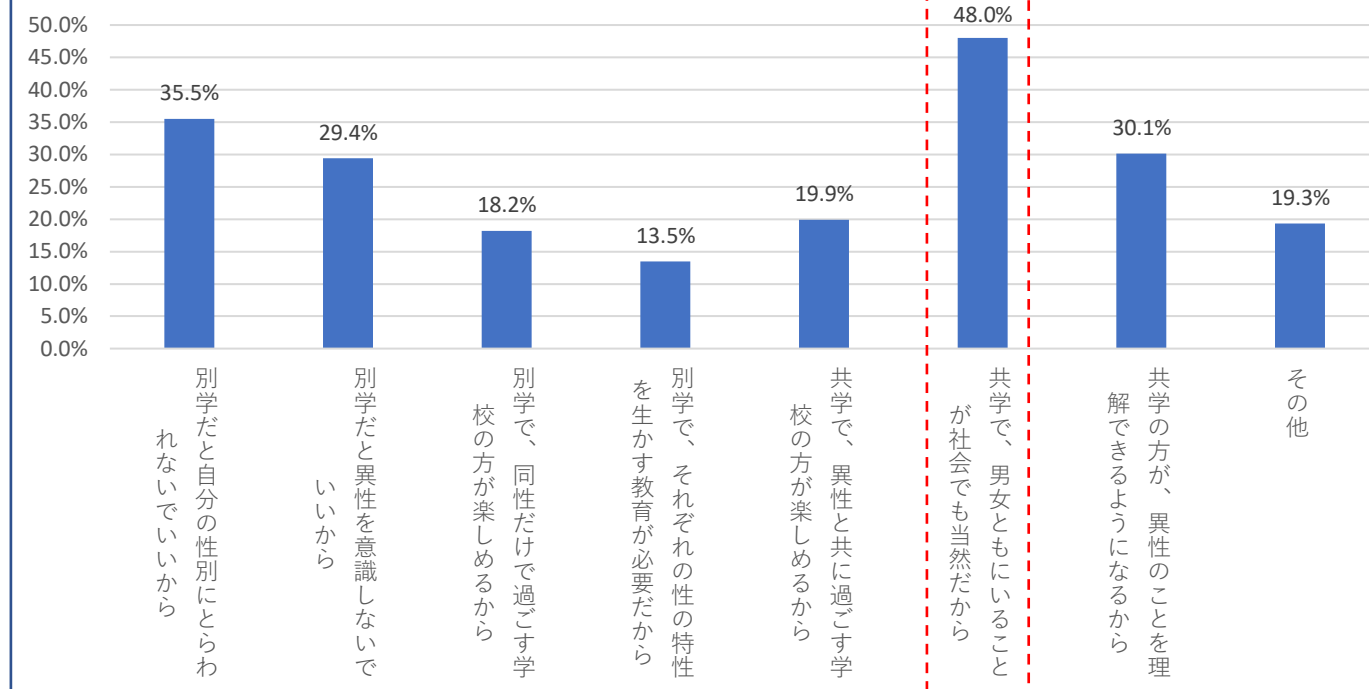


今後、男女別学はどうなっていくとよいか



- 別学か共学か選択できればいい
- 少なくとも公立学校は、将来的にはすべて共学にすべきだ
- 公立学校にしる私立学校にしる、将来的にはすべて共学にすべき
- その他

なぜ、そう思うか



2021.6.14-30
朝日新聞デジタルフォーラムでの調査
296回答（男90、女193、その他13）
10代27人、20代55人、30代39人、40代66人、
50代68人、60代32人、70代以上9人